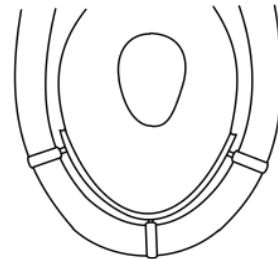
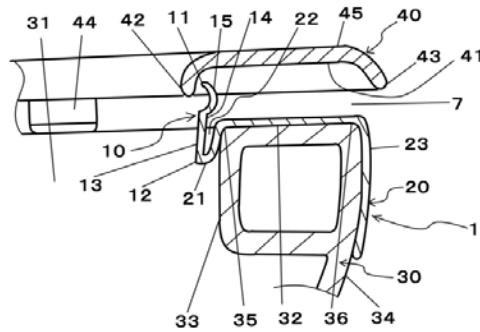


パテントマート掲載用フォーム
(権利・ライセンス情報)

[特許の内容]

整理番号: YO01002

出願番号	特願2010-106141	出願日	H22.5.6	登録番号	第4620801号
タイトル	汚水漏れ防止具				
技術分野	腰掛式便器の便器本体と便座との隙間から、尿や人体局部洗浄水等の汚水が漏れることの予防に関する。				
目的	腰掛式便器の座位使用の際、便器本体と便座との隙間から汚水が漏れることを防止する汚水漏れ防止具を提供する。さらに、簡便に着脱可能であり、便器本体および便座および便座カバーの機能や形状、使用感に影響することなく使用可能な汚水漏れ防止具とする。				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・便器本体と便座との隙間からの汚水漏れを簡便に防止できる。 ・汚水漏れ防止具は便器本体に着脱可能であり、装着は簡便で、厳密な位置調節を要さない。 ・素材により、多様な腰掛式便器の形状に対応可能である。 ・清掃が容易である。 ・温熱式便座や便座カバーの使用に影響しない ・汚水漏れ防止具を設置したままでも、立位排尿の妨げにならない。 				
技術概要	<p>汚水漏れ防止具1は、汚水を受ける帯状の汚水受け部10、およびその汚水受け部10を便器本体30に着脱可能に取り付ける装着部20よりなる。</p> <p>汚水受け部10は帯状の部材を円弧状に曲げてなる。汚水受け部10の上端11は、平面視で便座40の外周縁43と内周縁42の間に位置し、かつ、側面視で便座40の内周縁42の高さ以上に位置している。汚水受け部10の下端12は、平面視で便器本体30の内周縁35より内側に位置し、かつ、側面視で便器本体30の上端32の高さより下側に位置している。また、汚水受け部10と便器本体30とは接しておらず、汚水排水用の間隙部22を形成している。</p> <p>汚水が便器本体30と便座40との間の隙間7の方向に飛んだ場合に、汚水は汚水受け部10にあたり、隙間7から漏れることはない。汚水は汚水受け部10の内側面13を流れて便器開口部31内へ流れ落ちるだけでなく、汚水受け部10の上端11を超えるように伝わった汚水も、汚水受け部10の外側面14を流れ、汚水排水用の間隙部22から便器開口部31内へ流れ落ちることができる。</p>				



氏名	吉岡かおり		
住所			
TEL			
FAX			
E-mail			
コメント	汚水漏れは、清掃等の負担を増すだけでなく、転倒事故や感染症のリスク要因でもあり、また、精神的負担も大きい問題です。この発明は、心身機能が低下しても排泄の自立を維持しやすく、清掃や介護を担う人の負担を軽減し、誰もが腰掛式便器を快適に利用できるような考えたものです。 お問い合わせの際には、下記のお問い合わせ先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。		
●実施実績	無	●許諾実績	無
		●権利譲渡	可
		●実施許諾	可
希望ロイヤルティ:	応相談		



[お問い合わせ先]

アイピードリブンコンサルティング株式会社
 代表取締役 弁理士 井上 浩 (担当:南瀬 透)
 〒753-0077 山口県山口市熊野町1-10 NPYビル1F
 TEL:083-901-2260 FAX:083-901-2266
<http://www.ipdriven.co.jp/> e-mail: minase@ipdriven.co.jp